



# はじめの一步

## 必見！！新中学1年生の英語事情

新学習指導要領により、2020年度から小学校で必修となった英語。従来の小5・6での外国語活動が小3・4に移り、小5・6では教科として英語を行うことになったのです。そのテストを見てみると、ほとんどが音声聞いて答える問題になっており、4技能のうち読む力と書く力の習得はさほど求められていません。**しかし！！**実はここに大きな落とし穴があるんです…。今年度よりリニューアルされた中学校の教科書では、**中1英語のボリュームとレベルがグッと上がった**のです。これまではみんな一斉に英語学習をスタートしてきたので、中1の中間テストはアルファベットの**大文字・小文字**が書ければ半分は得点できていました。しかし、この春の中間テストはアルファベットからの出題が20点程度に減り、単語を書く問題が増えていました。また、小学校のコミュニケーション学習で学んださまざまな表現を中学校では『文法』として再度学んでいきます。つまり、**たくさんの単語が書けることは当たり前、多くの文法を理解し文章の読み書きをする力**が1学期から要求されるのです。

## ONE STEP でお預かりしている小5・小6生の授業内容

ONE STEPに通う小学生の大半は国語・算数で通塾していますが、小学校での英語の教科化に合わせ、**小5からは国語の授業の一部を英語学習に充てています**。学校の教科書に準じたワークで文法練習、タブレットでリスニングの練習を行っています。始めのころはアルファベットを4本線ノートに書くこともやっとでしたが、徐々にアルファベットの書き方にも慣れていきます。学校より先取りで学習をしているので、学校での授業も積極的に参加できるようです。小学校のテストに備えるにはここまでで十分ですが、**中学校の授業では小学校で習った基本単語の修得が前提となって進められるので、単語練習も宿題に組み込んでおります**。また、小6生にはこれから卒業までに『**100の単語を読み書きできること**』、『**20の基本例文を暗唱すること**』を目標に取り組んでもらいます。そして、3月からは中学の予習を始めていきます。

## 漢字練習を繰り返したように…単語もたくさん書くしかない

小学校の宿題で主流だった漢字練習が、中学校の宿題で出されることはほぼありません。その代わり英語の単語練習が宿題には…なりません！！漢字も英単語も自分で学習を進めるしかないのです。自分で覚えていくしかないのです。では、どうやって…？**まずは、その単語がどのように発音されるのかを確認しましょう。次にその単語の意味を確認しましょう。最後に、声に出して発音しながら書いていきましょう**。単語は習い始めが一番大変です。しかし、様々な単語を発音しながら書いていくうちに、“family”も“father”も“f”から始まることに気付く、“father”と“weather”は“ther”が同じ音をしていることに気付けます。**自分なりの規則性が見つけれらると、単語習得も早くなります**。とにかくたくさん書いて練習しましょう。

## ごあいさつ

こんにちは！ONE STEPは**個別指導の目標達成塾**です。

**未来を作る子どもたち**が、自分自身の目標を持って前に進む姿を、保護者様と一緒に見守り、時に悩み、時に笑い、共に喜ぶ。**心を寄せて子どもの成長を導いていくことが私たちの務めだ**と思っています。

教室を開校して12年が経ちおかげさまで、兄弟姉妹でお通いいただき、ご家族とも長いお付き合いをさせていただけるようになりました。これまでのたくさんの出会いに感謝し、**お礼の気持ちをこの地域に還元したい**と、教育情報誌をお配りしております。小さい塾なので、大きなことはできませんが、**小さなことこそ大切にしている**地域に根差した個別指導型の学習塾です。